

学校名 久喜市立鷲宮西中学校
所在地 久喜市上内1797
電話 0480-58-9645

1 本校の概要

本校は開校32年目を迎えた各学年2学級、特別支援学級2学級、生徒数175名の小規模校である。学校教育目標は「自覚・自信・自立」。生徒たちは明るく素直で、何事にも前向きに取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 全校一斉朝読書の実施

毎朝10分間の朝読書を実施している。図書室で借りた本や自分で用意した本を熱心に読む姿が見られる。

イ 図書委員会の読書推進活動

図書委員のお薦め本を紹介した掲示物を図書室廊下に掲示したり、全校生徒対象のお薦め本ポスターコンクールを開いて優秀作品を表彰したりしている。また、新刊本が配架された際には、数冊を選んで朝会で紹介するなど図書室の利用者を増やすための活動を行っている。

ウ ビブリオバトル（知的書評合戦）の実施

〈ビブリオバトルのルール〉

- ①発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ②順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



今年度は、まず2・3年生の国語の授業で、3分間の「ミニビブリオバトル」を実施した。その後、クラスで選ばれた代表者による「ビブリオバトル2016 in WASHINISHI」を開催した。



〈ビブリオバトルを終えて生徒の感想より〉

- ・違うタイプの本がたくさんあって、あらためて他の本も読んでみたいと思いました。表現力がすごく、とても分かりやすかったのでよかったです。この中から1冊しか選べないのはとても残念です。
- ・「この人はこんな本を読むんだ！」と思い、意外な一面が本を通して分かりました。読みたくなる本がたくさんありました。
- ・聞いている人を笑わせ、興味をひきつけ、本のよいポイントを伝えていてみんな話上手だった。話に引き込まれた。話し初めや話し方、態度もしっかりしていて工夫があった。6冊全部読みたい！

インターネットの情報でもお薦めの本は探せるが、身近な友達が薦める本ということでより興味がわくようで、紹介された本をすぐに購入したり借りたりする姿が見られた。また、ビブリオバトルは読書意欲が高まるだけでなく表現力も育成することができる。

〈ビブリオバトル2016で紹介された本〉

- ・オール ・カラフル ・三人孫市 ・青空エール
- ・鈴木ごっこ ・金曜のバカ（チャンプ本）

3 成果と今後の課題

日常的に読書に親しむ生徒が増えてきた一方、まだ読書に楽しみを見出せない生徒もいる。ビブリオバトルで紹介された本をリスト化したり図書室に購入して配架を工夫したりといった工夫を取り入れて、さらに読書活動を推進していきたい。